

寄付実績

「ボラサポ・九州」では、多くの企業・団体・市民の皆さまからのご協力をいただいています。

これまでの寄付総額 **5億 4,344万 9,467円**
(2018年3月29日現在)

引き続き、皆さまのご支援をよろしくお願い申し上げます。

■ 寄付金の受入口座 ■

三井住友銀行 東京公務部
普通預金 口座番号●0162552
口座名●社会福祉法人中央共同募金会ボラサポ九州支援金

※ボラサポ・九州への寄付金は、税制上の優遇措置（所得税、法人税）の適用対象となります。
<根拠法令等> 所得税法第78条 法人税法第37条

詳しくはホームページをご覧ください。 <https://www.akaihane.or.jp/saigai/kumamoto/donate/>

「ボラサポ・九州」は皆さまからの支援金で運営しています

被災地を支える募金には、大きく義援金と支援金の2つがあります。

義援金は、被災状況に応じ、被災地行政を通じてお見舞金として被災者個人に配られます。

支援金は、被災地でのボランティア団体やNPOによる復旧、復興活動に役立てられます。

「ボラサポ・九州」は支援金で運営しており、被災地や被災者のニーズに応じて行われる、即応性や柔軟性の高い活動への助成を通じて、被災された方々の支援につなげています。

■ 「ボラサポ・九州」へのご支援ご協力企業・団体 (五十音順・敬称略)

アサヒビール株式会社
株式会社アドバンテッジリスクマネジメント
株式会社阿部材木店
ELGC株式会社 M・A・C事業部
MS&ADインシュアランスグループ
大阪ガスグループ“小さな灯”運動
オリコグループ社会貢献ファンド
株式会社カインズ
霞が関コモンゲート管理組合
(新日鉄興和不動産株式会社)
株式会社カタログハウス
「じしん保険『絆』支援金」プロジェクト
株式会社ジャパネットたかた
株式会社ジャパネットホールディングス
昭和電線ホールディングス株式会社
白金運輸株式会社
株式会社スミフルジャパン
有限会社総社清掃
ソフトバンク株式会社

ソフトバンク・テクノロジー株式会社
Doing Business as Azuna-kai
東京特殊電線株式会社
日本イーライリリー株式会社
日本たばこ産業株式会社
日本弁理士協同組合
野村ホールディングス株式会社
株式会社バーニーズ ジャパン
パナソニック株式会社
芙蓉総合リース株式会社
古河エレコム株式会社
古河産業株式会社
古河電気工業株式会社
マニライフ生命保険株式会社
三菱ケミカル・クリンスイ株式会社
三菱自動車工業株式会社
三菱電機株式会社
三菱電機特機システム株式会社
株式会社ユナイテッドアローズ

このほか多くの企業・団体の皆さまのご支援ご協力に感謝申し上げます。



赤い羽根 「災害ボランティア・NPO活動 サポート募金」・九州 (ボラサポ・九州) 報告

「支える人を支える」しくみ



赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」・九州(ボラサポ・九州) 報告

発行 2018年4月
社会福祉法人 中央共同募金会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル
Tel ● 03-3581-3846 Fax ● 03-3581-5755 メール ● support@c.akaihane.or.jp
ホームページ ● <https://www.akaihane.or.jp/saigai/kumamoto/>
ボラサポ・九州Facebook ● <https://www.facebook.com/borasapo>

社会福祉法人 中央共同募金会

ボラサポ・九州とは

2016年4月14日以降に熊本県と大分県で相次いで発生した平成28年（2016年）熊本地震では、甚大な被害が生じました。

赤い羽根の中央共同募金会では、発災直後の2016年4月19日より、被災地等で支援活動を行う団体を経済的に支えることを目的に、全国の皆さまからお寄せいただくご寄付を財源として、赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」・九州（以下「ボラサポ・九州」）を立ち上げました。

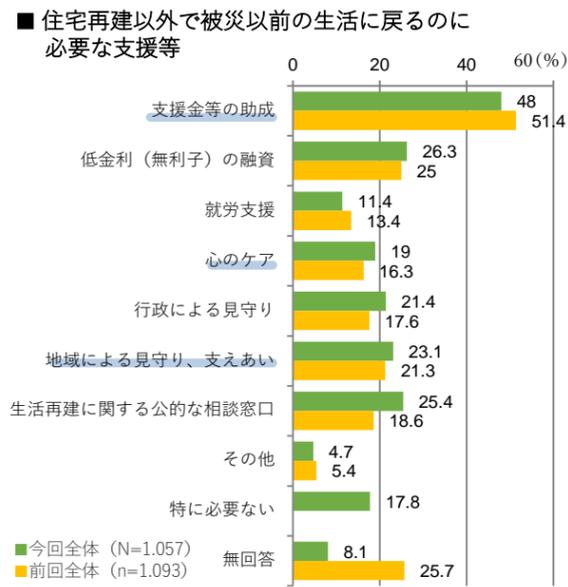
「ボラサポ・九州」では、今後、被災地の復興に向けて、地域に密着したさまざまな人のつながりや被災地のコミュニティの再興のために、地元住民のグループなどによる情報提供や交流の場づくりなどの活動を応援していきます。

被災地のいまと必要とされていること

発災から2年。自立再建していく方がいる一方で、自宅の建設や修理工事、区画整理や災害公営住宅建設事業の遅れなどから、被災地では、いまなお4万人近い方々が住まいや心身の健康への不安を抱えながら、仮設住宅などでの避難生活を余儀なくされています（2018年2月28日現在 熊本県発表「応急仮設住宅等の入居状況」より）。

高齢化や生活困窮、地域からの孤立など、さまざまな課題があるなかで、住民同士の見守り活動や情報交換・交流の場づくり、孤立防止のためのサロン活動などの取り組みが行われています。

また、災害公営住宅への入居が本格化する時期には、新たな地域でのコミュニティ形成のニーズも高まってくると考えられ、今後も、被災者お一人おひとりに寄り添った息の長い継続的な支援が必要とされています。

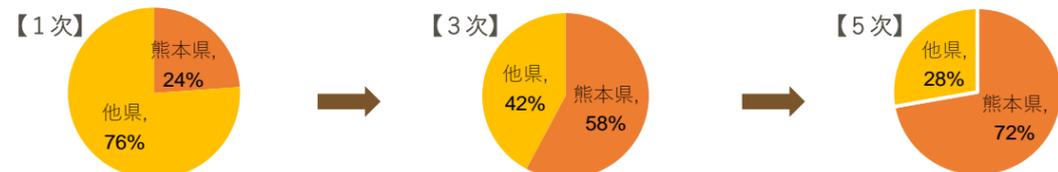


（出典：熊本県 平成28年熊本地震にかかるアンケート調査報告書について）

助成概要

「ボラサポ・九州」では、これまで5回の助成を決定し、助成件数は266件、助成決定額は5億349万円となっています（2018年4月現在）。

助成の決定にあたっては、支援活動を外部の団体から地元の団体に引き継ぎ、活動を継続していけるよう促してきました。発災直後は助成団体の多くが他県の団体でしたが、現在は、半分以上が熊本県内の団体となり、地元の団体が主体的に活動を継続していることがうかがえます（下図参照）。



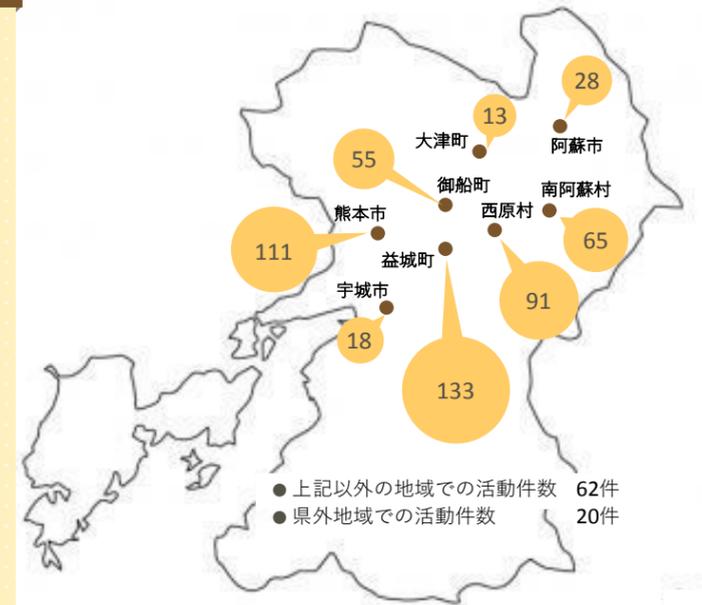
活動事例

「ボラサポ・九州」の助成を受けて実施された活動の一部をご紹介します。

熊本大学学生災害復旧支援団体「熊助組」 熊本県全域 (2016.10~2017.9)

被災地のニーズが変化してきた7月末から、被災地での夏祭り等復興イベントに参加したり、東北大学など他大学や他のNPO団体等と連携して避難所や仮設団地で足湯やカフェ、子ども向けのイベント等を行ったりしました。避難所や仮設団地での活動を通して子どもたちへの遊びの提供や、住民の心のケア、コミュニティ形成に寄与することができました。

●寄付者へのメッセージ●
全国からの支援により、活動を継続することができました。今後も、熊本で学び地震を経験した学生として、地域に寄り添った活動を続けていきたいと思ひます。



※吹き出し内の数字は、助成決定団体が活動した地域ごとのべ活動件数

あいらのさと 逢桜の里 熊本市・上益城郡 (2017.3~2017.9)

熊本市内の被災地域で子ども食堂・地域食堂をしている団体とともに活動いたしました。地震により大きな被害を受けましたが、熊本の各校区に1か所「里（地域の大人ができること、子どもができることをみんなで互助し合う居心地の良い場所）」をつくって、安心できる居心地の良い地域づくりをめざし、がんばっています。

●寄付者へのメッセージ●
皆さまの赤い羽根「ボラサポ・九州」を通しての募金・思いのおかげで、行政では手の届きにくい社会課題解決に対しての活動を行うことができました。



熊本市・益城町・御船町 一般社団法人パルビー (2017.1~2017.9)

私たちは、仮住まいでも住民が自分らしく過ごせる環境をつくり、本当の意味での復興に向け、強く大きな地域コミュニティ「みんなで作る回復力のある地域」の構築をめざしています。仮設住宅団地により異なるニーズに可能な限り対応し、信頼関係が築けたことで、継続したコミュニティ構築支援を行い、専門機関や他団体へつなぐことができました。

●寄付者へのメッセージ●
熊本で被災し緊急支援へのかかわりをきっかけに長期的な支援の必要性を感じ、継続して活動している私たちにとって、皆さまからの熊本へのご支援は多大なる後押しになります。ありがとうございます。



●助成団体の活動内容報告は、本会のホームページでご紹介しています。
https://www.akaihane.or.jp/saigai/kumamoto/borasapo_activity/